

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月28 日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者 静岡県富士宮市北山4839-2

住 所 アサヒ飲料株式会社 富士山工場

氏 名 工場長 杉野 英昭

電話番号 0544-58-9977

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

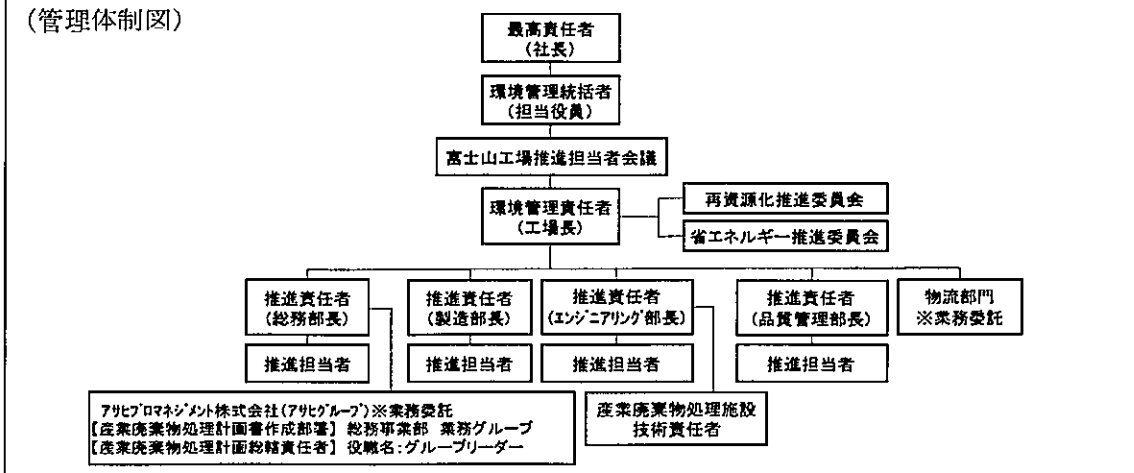
事業場の名称	アサヒ飲料株式会社 富士山工場
事業場の所在地	静岡県富士宮市北山4839-2
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	清涼飲料製造業（1311）
② 事業の規模	32,806千函（令和3年度）
③ 従業員数	167名（正社員140名、それ以外の社員27名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・植物性残渣→委託処分（肥料） ・有機性汚泥→脱水中間処理→委託処分（肥料） ・汚泥→委託処分（造成用資材） ・廃酸→委託処分（メタン発酵）（養豚飼料） ・廃プラスチック類→委託処分（固形燃料化） ・金属屑→委託処分（マテリアルリサイクル） ・木屑→委託処分（製紙原料） ・ガラス→委託処分（ガラス原料） ・廃油→委託処分（再生重油） ・廃蛍光灯→委託処分（ガラス・水銀・アルミ）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 3 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) (1) 発生抑制 ・ 工程内リサイクルを推進 ・ 令和3年度に表茶ろ液処理 (廃酸) を内製化実施。 (2) 再生利用 ・ 再資源化、熱料利用を推進 ・ 再生利用ルートを確保 (3) 中間処理 ・ 脱水効率の向上等による中間処理を推進 (4) その他 ・ 現在の発生する廃棄物はリサイクル100%を実施 ・ 業者の処理内容を確認し、産業廃棄物の適正処理を確保		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 植物性残渣の有価物による排出を推進し、廃棄物排出量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 場内で発生する廃棄物は、動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃プラスチック類・金属屑・木屑・廃油・廃電気機械器具・廃電池類・ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑・特定有害廃酸・強酸・強アルカリ・廃アルカリ。分別を徹底し、有価物としての排出を推進。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の細分化は現状完了している。新たな種類の廃棄物が発生した場合についても有価物としての排出を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	
	（今後実施する予定の取組） 自ら再利用をする計画は無い。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	14,733 t	
（これまでに実施した取組） 脱水効率の向上による中間処理を推進			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	15,382 t	t
（今後実施する予定の取組） 脱水処理設備を更新し、含水率5%削減を計画。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） これまで埋立処分、海洋投入処分をしたことは無い。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	
	（今後実施する予定の取組） 埋立処分、海洋投入処分の計画は無い。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	7429.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1158.7 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7429.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	（これまでに実施した取組） 新たな処分委託先については信用調査を実施し、再資源化100%を維持する取り組みを行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	6500.7	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1100.7	t
	再生利用業者への 処理委託量	6500.7	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も再資源化100%を維持するため、処分先管理を徹底していく。</p>		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(令和3年度)実績)

別紙
(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら中間処理により減量した量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量 (①-(②+③+④))	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への 処理委託量
動植物性残渣	4,473.3	0.0	0.0	0.0	4,473.3	47.7	4,473.3	0.0	0.0
有機性汚泥	16,565.0	0.0	14,733.0	0.0	1,832.0	13.3	1,832.0	0.0	0.0
廃酸	1,003.1	0.0	0.0	0.0	1,003.1	1,003.1	1,003.1	0.0	0.0
廃プラスチック類	70.3	0.0	0.0	0.0	70.3	44.8	70.3	0.0	0.0
金属屑	9.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	9.0	0.0	0.0
木屑	40.6	0.0	0.0	0.0	40.6	40.6	40.6	0.0	0.0
ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.5	0.0	0.0
廃油	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0
合計	22,162.6	0.0	14,733.0	0.0	7,429.6	1,158.7	7,429.6	0.0	0.0

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度目標値)

別紙
(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら中間処理により減量した量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量 (①-(②+③+④))	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う 業者への 処理委託量
動植物性残渣	4,249.6	0.0	0.0	0.0	4,249.6	45.3	4,249.6	0.0	0.0
有機性汚泥	16,565.0	0.0	15,382.0	0.0	1,183.0	12.7	1,183.0	0.0	0.0
廃酸	952.9	0.0	0.0	0.0	952.9	952.9	952.9	0.0	0.0
廃プラスチック類	66.8	0.0	0.0	0.0	66.8	42.6	66.8	0.0	0.0
金属屑	8.6	0.0	0.0	0.0	8.6	8.6	8.6	0.0	0.0
木屑	38.6	0.0	0.0	0.0	38.6	38.6	38.6	0.0	0.0
ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.5	0.0	0.0
廃油	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0
合計	21,882.7	0.0	15,382.0	0.0	6,500.7	1,100.7	6,500.7	0.0	0.0